裏表紙





『おおた障がい施策推進プラン』とは…

「おおた 障 がい施策推進プラン」とは、大田区がいろいろな人たちと 力 をあわせて、 障 がいのある人のためにどんなことをするのかが書いてあるものです。

しょう しさくすいしん いか けいかく ふく 「おおた 障 がい施策推進プラン」には、以下の4つの計画が含まれています。

おおたくしょうがいしゃけいかく

では、きょりなくしょうがいふくしけいかく ②「第6期大田区障害福祉計画」

ましょうがいじふくしけいかく ③「第2期障害児福祉計画」 れいわ ねん がつ れいわ ねん がつ ねんかん とりく か 令和3年4月から令和6年3月までの3年間の取組みについて書いてあります。



発行年月:令和3年3月 はっこう ままたくふくしばしょうがいふくしか 発行:大田区福祉部障害福祉課 〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号 電話:03-5744-1700 FAX:03-5744-1592 ホームページ:https://www.city.ota.tokyo.jp

おおた障がい施策推進プランで目指していること

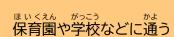
大田区が、『障がい者が地域で自分らしく安心して暮らせるまち』になるよう、

プランの取組みを進めていきます。

地域で暮らす

動いたり、活動したりする

じぶんで決めることが難しい人への 手助けの取組み(成年後見制度など)





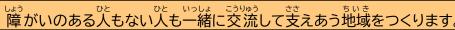
障がいのある子どものことを相談する



放課後や休みの日などを過ごす







障がいを理由とした差別をなくしていきます。障がいのことをみんなに理解してもらえるように伝えていきます。

しょう 障がいのある人が、スポーツや芸術活動などを楽しめるようにします。

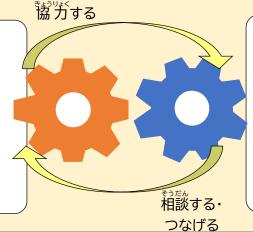




しょう ひと かぞく ささ しく **障がいのある人や家族を支える仕組みをつくります**

しょう 障がいのある人だけでなく、 ・ディ その家族などが困っているときにも、 手助けできる仕組みをつくります。 みなさんの困ったことを まうだん 相談できるように、専門の人たちが協力します。





地域のみんなで助け合える仕組みをつくります

支える

まいき ひと かいしゃ 地域の人や会社など、 みんなで協力して、 たす 助け合える仕組みをつくります。 地域で困っている人に気づいたら、 せんもん ひと そうだん 専門の人たちに相談します。



新しい取組みを進めます

障がいのある人が受けられるサービスをより受けやすくするために、新しいやり方を考えていきます。 ^{っか} 例えば、インターネットなどを使っていくことが 考 えられます。



-2-

~

おおた障がい施策推進プランで取り組むこと

1 自分らしく いきいきと 暮らせるまち

ゆまう でと **障がいのある人が** ゆっよう **必要なサービスを** う **受けられるように**

2 障がいのある人が す 住みなれた地域で 暮らすことができるように

手助けをします。

手助けをします。

障がいのある人の 「働きたい」や 「スポーツなどを楽しみたい」 という思いを応援します。

たとえば・・・

サービスの内容が もっと良くなるようにします。



がいきで暮らすために グループホームなどの す 住むところを増やします。

● 働くことができるように いろいろな手助けをします。

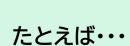
トライスポーツなどのイベントを開催して、
まの まかい つく 楽しく過ごせる機会を作ります。

4

がようき 病気やけがについて、 そうだが 相談しやすい し 仕組みをつくります。

ゆいのある子どもも、 障がいのない子どもも、 障がいのない子どもも、 いっしょ まな そだ 一緒に学び育つように てだす 手助けをします。

はったつしょう 発達障がいなど、 しょう さまざまな障がいにあった てだす 手助けをします。





ではらうできるように をいく まかしん 安心して まかいか まかでく まかい 安心して まいかっ 生にかっ まま ひます 取組みを進めます。



-3-

-4-

おおた障がい施策推進プランで取り組むこと

2 認めあい つながり 暮らせるまち

障がいのある人もない人も、みんながお互いのことを大切にする社会を目指します。

| The control of th

^{さべっ} 障がいのせいで差別されないようにしていきます。



ゆよう 障がいのある人やその家族が いろいろな困ったこと、 むずか もんだい 難しい問題を そうだん 相談しやすくします。

2

きべつ 差別をなくすようにします。 ^{しょう} 障がいについての ^{ただ}しい知識を 正しい知識を 伝えていきます。



たとえば・・・

まうだん せんもん ひと 相談の専門の人たちが いいしゃ しせっ がっこう ちいき ひと 会社や施設、学校、地域の人たちと 協力して、 しょう 障がいのある人の そうだん う 相談を受けたり、 てだす 手助けをします。

パンフレットなどを使って、
「はょう でと で で で で で で で で で で で で で で で で が いのある人を で ひっょう とき ささ 必要な時に支えたりすることが 大切なことを みんなに知ってもらうようにします。

● 障がい者施設のお祭りや イベントを通して 障がいのある人も,障がいのない人も 地域のみなさんと 楽しめるようにします。

3 安全・安心に暮らせるまち

障がいのある人が、社会の仲間の一人として大切にされ、安全・安心に暮らせることを目指します。 地震や台風などの災害が起こったときに、みんなで助け合えるように、準備を進めます。 いやなことを言われたり、無視されるなどの虐待をなくします。 大切なことを自分で決めることが難しい人の手助けができるようにします。

1

世長の たいふう せいがい 地震や台風などの災害や がまか まか おかま かま できた ときに こま 困らないようにします。

たとえば・・・



- 自分で決めることが まずか 難しい人を手助けする とりく 取組みをもっと進めます。
- 障がいのある人、
 おとなった
 大人や子ども、外国人も
 みんなが住みやすい
 地域をつくります。

2

じぶん 自分で決めることの てだす 手助けをします。 やくしょ 役所など、たくさんの人が つか ばしょ つか 使う場所を使いやすくします。